

経験年数・職位目安	育成するコア能力	到達目標	行動目標	保健師に求められる専門能力								目標設定		最終評価							
				企画立案能力	調査研究能力	情報収集能力	保健事業運営能力	個人・家族・集団・地域支援能力	健康危機管理能力	社会資源開発能力	連携・調整・評価能力	事業・政策	人材育成能力	具体的な目標	達成方法	評価	評価次期に向けて	管理指導者コメント			
4～15年目（技師・主任保健師）	集団、地域を視野に入れた組織的対応能力	1 2 3 住民主体の事業活動の計画・実施・評価・改善ができる。	①プリセプターとして後輩と一緒に個別事例のアセスメントや対応方法を共有整理できる					○													
			②複雑困難な事例への支援を関係機関と連携を図りながら実施できる					○		○											
			③自ら健康問題に気づいていない・支援を求めない対象の潜在的な問題を予見し、予防的にアプローチすることができる					○													
			④所内事例検討を活用し、情報の整理、アセスメント、支援策が決定できる					○													
			⑤事例検討を実施し、市町村や関係者と支援目的・目標の共有や役割分担をすることができる					○			○										
			⑥支援に必要なケアチームを編成し、関係職種と連携して対応できる					○			○										
			⑦事例検討会でファシリテーターを務めることができる																		○
			⑧同様のニーズを有する複数の事例を地域のニーズとして位置付けることができる								○										○
			⑨住民主体の集いや自助グループ等の活動を育成・支援することができる							○	○										
			⑩個別支援の事例を通して得た地域の課題や広域的な課題が整理できる					○						○							
			⑪事業評価表による事業計画の評価を行い、評価結果の活用と波及効果について分析することができる	○	○	○										○					
			⑫担当事業の計画立案・実施・評価を実施し、事業を改善していくことができる	○	○	○											○				
			⑬計画の内容を資料化し、上司や関係者に報告・提供できる	○													○				
			⑭健康危機の発生を意識して、担当業務や個別事例において予防活動が実践できる	○							○	○									
			⑮先輩・上司の助言を得ながら研究的視点で支援・事業の評価を行い、業務改善の方向性を見出し発表できる	○														○			

※到達度は5段階で評価する  
 5 達成している(助言なし、または少しの助言で発展させることができる)  
 4 ほぼ達成(具体的な助言により達成できる)  
 3 課題が残る(具体的な助言を繰り返すことのできる)  
 2 達成できない(具体的な助言を繰り返しても不十分)  
 1 体験する機会がない